

様式2 再生資源利用促進計画書(実施書) - 建設副産物搬出工事用 -

通知書別表2

記入例

1. 工事概要 表面(様式1)に必ずご記入下さい

2. 建設副産物搬出実施

単位に注意

現場内利用の欄には、発生量(掘削等)のうち、現場内で利用したものについて御記入ください。

建築工事において、解体と新築工事を一体的に施工する場合は、解体分と新築分の数量を区分し、それぞれ別に様式を作成して下さい。

裏面

コード*14(コード*13で「7.内陸処分場」を選択した場合のみ記入)

1.山砂利等採取跡地 2.処分場の覆土 3.池沼等の水面埋立 4.谷地埋立 5.農地受入 6.その他

建設副産物の種類	発生量 (掘削等) = + +	現場内利用・減量		現場外搬出について										再生資源利用 促進率 (%)					
		用途 コード*10	利用量 うち現場内 改良分	減量法 コード*11	減量化量	搬出先名称		区分	施工条件の 内容 コード*12	搬出先場所	住所コード *4	運搬距離 *5	搬出先の 種類 コード*13		受入地 の用途 コード*14	現場外搬出量	うち現場内 改良分	再生資源 利用促進量 (注2)	
特定建設資材廃棄物	コンクリート塊	100	1	30		搬出先1	リサイクル(株) 工場	公共(民間)	1	堺市	2 7 2 0 1	10	2		70		70	100	
	建設発生木材 (木材が廃棄物 になったもの)	10				搬出先1	(株)チップ化工場	公共(民間)	1	堺市	2 7 2 0 1	5	2		8		8	80	
	アスファルト・ コンクリート塊	300				搬出先1	道路(株) 工場	公共(民間)	1	堺市	2 7 2 0 1	15	2		300		300	100	
建設廃棄物	建設発生木材 (伐木材、除根 材など)	10				搬出先1	(株)チップ化工場	公共(民間)	1	堺市	2 7 2 0 1	15	2		8		8	80	
	建設汚泥	800			3	50	搬出先1	(株) 処分場	公共(民間)	2	堺市	2 7 2 0 1	40	2	260		260	33	
	建設混合廃棄物	30				搬出先1	リサイクルセンター	公共(民間)	2	堺市	2 7 2 0 1	15	2		30		30	100	
	金属(ず)	10				搬出先1	金属(株)	公共(民間)	3	堺市	2 7 2 0 1	5	3		10		10	100	
	廃プラスチック	2				搬出先1	リサイクルセンター	公共(民間)	2	堺市	2 7 2 0 1	15	2		2		2	100	
	紙(ず)	1			1	1	搬出先1		公共(民間)								0	100	
	アスベスト (飛散性)	1					搬出先1	処分場	公共(民間)	3	堺市	2 7 2 0 1	10	7		0		0	0
	その他の分別さ れた廃棄物	1					搬出先1	処分場	公共(民間)	3	堺市	2 7 2 0 1	10	7		0		0	0
	建設発生土	第一種 建設発生土	2000				搬出先1	工事	公共(民間)	1	堺市 地先	2 7 2 0 1	5	1		1200	地山 ³	2000	100
		第二種 建設発生土					搬出先1	ストックヤード	公共(民間)	2	堺市 地先	2 7 2 0 1	8	4		800	地山 ³		
第三種 建設発生土		1700	3	700		搬出先1	工事	公共(民間)	1	堺市 地先	2 7 2 0 1	10	1		600	地山 ³	600	76	
第四種 建設発生土						搬出先1	処分場	公共(民間)	3	堺市 地先	2 7 2 0 1	20	7	1	400	地山 ³			
浚渫土						搬出先1		公共(民間)								地山 ³			
合計		3700		700			搬出先1		公共(民間)						3000	地山 ³	2600	89	

コード*10
1.路盤材 2.裏込材
3.埋戻し材 4.その他(具体的に記入)

コード*11
1.焼却 2.脱水
3.天日乾燥 4.その他(具体的に記入)

コード*12
施工条件について
1.A指定処分
(発注時に指定されたもの)
2.B指定処分(もしくは準指定処分)
(発注時には指定されていないが、
発注後に設計変更し指定処分とされたもの)
3.自由処分

コード*13(詳細は「表-4」参照のこと)
再生資源利用促進
(再生利用された場合)
1.他の工事現場(内陸:公共、民間を含む)
2.再資源化施設(土質改良プラントを含む)
3.有償売却(工事請負会社が建設副産物を売却し、
代金を得た場合)
4.建設発生土ストックヤード(再利用工事が決まっている
場合)
5.海面埋立事業(海岸、海浜事業を含む)

最終処分場・その他
(処分された場合)
6.最終処分場(海面処分場)
7.最終処分場(内陸処分場)
8.建設発生土ストックヤード(再利用工事未定)
9.焼却施設・最終処分場へ持ち込むための中間
処理施設
10.その他(具体的に記入)

注2:再生資源利用促進量について
現場外搬出量のうち、搬出先の種類
(コード*13)が1~5の合計
発生量 再生資源利用促進量

建設発生土の場合のみコード*13で「7」選択時に記入

整数で記

整数で記入

記入欄の桁に注意

木材で焼却を行った場合は「9」を選択

再資源化を行った場合は「2」を選択

最終処分場を行った場合は「7」を選択

市町村名と住所コードの一致